絵画が寄贈されました

４月１日、市内在住（笠間市中央）の洋画家藤井和亮さんより、かやぶき農家の納屋を描いた「納屋の前」など２点の絵画が市に寄贈されました。藤井さんはイタリア大聖年記念展で芸術大賞、パリ・ルーブル美術館展でグランプリを受賞し、第36 回日展で入選。現在も日本美術家連盟会員、県展審査員などを歴任しています。

寄贈された絵画は、市役所市長室と市民センターいわまに展示されました。

寄贈された絵画「納屋の前」（左：藤井和亮さん）

歌できずなを深めたい！
笠間少年少女合唱団定期演奏会

笠間少年少女合唱団（団長：鈴木照行さん）の第 15 回目となる定期演奏会が笠間公民館で開催されました。笠間少年少女合唱団は、市内の小学生から高校生 27 名で構成され、定期的な演奏会や老人福祉施設でのコンサート活動など行っています。今回の演奏会では、合唱のほか、歌声に合わせた団員による吹奏楽器の演奏も披露されました。

会場いっぱいに元気な歌声を届けた団員の皆さん

北山公園の自然に触れながら
植樹体験

３月 21 日、北山公園でサルスベリを植樹する体験会が開かれました。この催しは、公園を管理する笠間市造園建設業協同組合（組合長：稲葉総さん）が、北山の自然に触れ合いながら公園を身近に感じてもらおうと開催しているもので、昨年７月の草花、11 月のモミジの植樹に続いて３回目。参加者たちは、樹木の状態を診断する樹木医などの専門家から手ほどきを受けながら、２メートルほどの苗木を次々に植えていきました。

サルスベリの苗木を植える参加者

市民の安全安心を守る
佐白交番が開所

４月７日、市内石井に新設された佐白交番の開所式が行われました。この交番は、稲田駐在所と箱田駐在所を統合したもので、東側にそびえ立つ佐白山から「佐白交番」と命名されました。入り口には笠間稲荷神社にちなみ、鳥居をイメージした朱色の雨よけが設置されています。市民の安全安心を守るため、所長ら９人の勤務員が交代で任務に当たります。

開所式でテープカットを行う関係者

新１年生の新たな学校生活がスタート

春爛漫の４月７日、市内 14 校の小学校で一斉に入学式が行われ、新１年生 740 人の新たな学校生活がスタートしました。このうち、岩間第二小学校（大曽根一己校長）に入学した児童は 29 人。同校の体育館で行われた入学式では、担任の先生から一人ずつ氏名を呼ばれ、「はい」と元気よく返事をしていました。また、上級生から歓迎の言葉が送られ、満面の笑みを浮かべていました。

入学式の緊張から開放され、担任の先生と退場する新１年生（岩間第二小学校）

まちの話題

北山公園・佐白山がきれいになりました

笠間市民憲章協議会では、市民憲章にある「自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう」を実践するため、環境保全実践活動委員会を立ち上げ毎年定期的に清掃活動を行っています。今回も多くのボランティアが参加し、市内の代表的な地域資源である北山公園、佐白山を各３コースに分け、歩きながら道路や遊歩道に落ちているごみ拾いを行いました。

佐白山周辺のごみを拾いながら歩く参加者

笠間お花見会～桜を愛（め）でる

４月４日（土）に笠間支所で【笠間お花見会～桜を愛（め）でる】が開催されました。これは、毎年笠間支所の桜のライトアップを行っている笠間市まちづくり教室のなかよしススメ隊のみなさんが、「みんなで桜を楽しもう」を合言葉に開催したもの。当日は、同教室のしあわせツカミ隊のみなさんも加わり、綿あめ・鯉焼き・いなり寿司などのサービスや、ベーゴマ、メンコ、さらには津軽三味線の川嶋志乃舞さんの演奏など、楽しいひとときを過ごしました。

津軽三味線を演奏する川嶋さん姉妹

交流を通して国際理解

４月 10 日、タイとフィリピンの中学生と高校生 15 人が岩間第１小学校を訪れ、６年生の児童と交流を深めました。この催しは、国際ロータリー 2820 地区の青少年交歓委員会が主催するもので、それぞれの文化や伝統に触れることで、相互の国際理解を深めることを目的としています。当日は、自己紹介から始まり、コマ、おはじき、お手玉、羽根つき、あやとりなどの昔遊びや校庭で竹馬や一輪車を楽しんだ後、体育館に移動しフィリピンの歌やタイの民族舞踊が披露されました。

タイの民族舞踊を一緒に楽しむ参加者